

新機種リサーチ (納品日: 2011年3月27日)

ビスティ/フィールズ エヴァンゲリオン・真実の翼 G



(C)カラー (C)Bisty

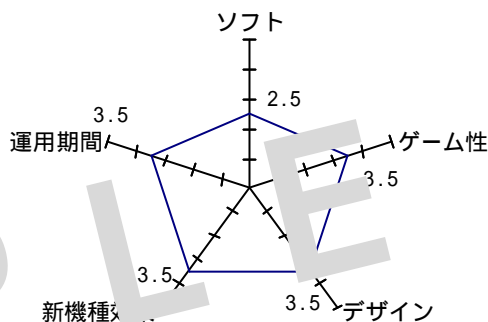
種別 : RT
 ボーナス : SBB : 最大402枚、NBB : 最大259枚、RB : ほぼ52枚
 RT : 約0.3枚/G (ビーストモード)、約0.6枚/G (暴走・覚醒モード)

	B B合成	R B	合成	出玉率
設定1	1/364.1	1/753.3	1/245.5	96.5%
設定2	1/350.5	1/728.2	1/236.6	98.9%
設定3	1/336.1	1/704.7	1/227.6	101.6%
設定4	1/316.6	1/668.7	1/214.9	105.3%
設定5	1/304.8	1/636.3	1/206.1	107.7%
設定6	1/281.2	1/585.1	1/190.0	112.6%

総合得点

16.5 point

総合評価



リサーチデータ

リサーチ日時 : 2011年3月28日 (月) 導入1日目
 リサーチ地区 : 東京・新宿区 繁華街店
 営業方法 : 無制限
 換金率 : 等価交換
 設置台数 : 約230台 (スロット専門店)
 吹き返し : 平均500~700枚、最大4000枚
 ハマリ回数 : 平均400~500ゲーム、最深1000ゲーム
 ベース : 約0.7ゲーム (約1000ゲーム)

ゲーム性

シリーズ機最多となる連続系演出とプレミアムムービーの収録、高効果の高いネルフ役物や初号機役物の搭載など、過去のシリーズ機と比較しても、演出の充実ぶりは際立っており、モチーフの再現性及びモチーフファンへの訴求力は極めて高い。

過去のシリーズ機の中でも「エヴァンゲリオン新劇場版」の視聴者向けの色が濃くなったことも事実で、視聴経験を有さない層、或いはモチーフの非ファン層には、前作までのシリーズ機と代わり映えしない印象を与えかねない。

ソフト

シリーズ機の基本設計を踏襲しながら、RB当選時の落胆感を軽減させるべく、RB終了後に突入するRT「ビーストモード」を付与している。

「ビーストモード」から「覚醒モード」への昇格頻度が低く、「ビーストモード」が短ゲームで終了するケースも多発するため、RTの魅力よりもRBの獲得枚数が少ないというデメリットの方が先行しやすい。

運用方法

ソフトは時代のトレンドから乖離した旧来型の設計と言わざるを得ず、出玉性能やRT仕様に対する支持は得られづらい一方、ゲーム性に関しては、映像面の刷新と演出数の大幅な拡充、「モバスロ」機能の新搭載に伴って、完成度や魅力が格段に向上しており、稼働の軸を担う定番機種として、シリーズ機やモチーフファンによる演出見たさの遊技が中長期に渡って持続する可能性が高い。

特に「モバスロ」機能が有する「やり込み要素」の浸透が運用期間を左右する大きなカギを握るはずで、導入店舗では、プレイヤーの動向から、当該機能の浸透度合と今後予定されている期間限定のモバスロ専用季節イベントの内容に至るまでチェックし、実際のホールイベントなどとの連動性を持たせることが重要と言える。

リサーチ者の視点 劇場版の映像を引用した、シリーズ最多の連続系演出とプレミアム演出、「モバスロ」機能など、モチーフファンには魅力的に映る要素が満載で、ゲーム性に対する高い支持が得られることは間違いない。しかし、ソフト面においては、400枚超のボーナスを搭載したことによって、深めのハマリやボーナス間の間延びが生じやすい点は懸念され、ボーナス合成確率150分の1前後のノーマルタイプが多数存在する中、辛さや重さのみが強調される危険性も高い。なお、今後は設定看破に関する情報開示に合わせてイベントなどを開催し、ファンの定着を図るといふ、過去のシリーズ機と同様の運用を行なえば問題ないだろう。